

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 心身健康科学科

名 前 吉田昌宏

作成日 2023年9月27日

1. 責務 (何を行っているか、何を果たしているか)

心理学概論 (必修、看護1年)、臨床心理学 (選択、理学・技師装具1年)、こころの科学 (必修、健康栄養・ヘルスフード1年)、カウンセリング論 (必修、健康栄養3年)、大学入門ゼミ (必修、心身健康科学、1年)、ヒューマンⅢ (必修、心身健康科学)、心理学研究法 (選択、心身健康科学)、ヒューマン文化・社会といのちのつながり (選択、心身健康科学)、社会心理学 (選択、心身健康科学)、社会現代家族論 (選択、心身健康科学)、心理統計学Ⅰ・Ⅱ (選択、心身健康科学)、社会・文化とこころのしくみこころと健康と家族関係 (選択、心身健康科学)、こころと行動の測り方データ解析による心身の理解 (選択、心身健康科学)、基礎データ解析による心身の理解―実践・入門 (選択、心身健康科学)、データ解析による心身の理解―実践・発展こころの健康と病気 (選択、心身健康科学)

2. 理念 (教育に対する考え方)

臨床心理学の専門家として、臨床心理士・公認心理師の資格を保有している。教育で大切にしていることは、心理学初学者にも理解しやすい講義を行うことを大切にしている。また、受講者が少人数の場合、ディスカッション形式の授業を行い、アクティブラーニングを通じて学生の主体性を引き出し、授業内容の理解度を高める取り組みを行っている。

また、初学者に対して理解を促す方法として、ビデオ教材の使用、ディスカッション形式の授業の導入、復習のための複数回の小テストの導入を行い、学生の理解度を高めると共に、リアクションペーパーを通じて学生との質問等のやりとりを行うことにより、学生との質疑応答を行っている。これらの教育方法により、大教室の講義においても、学生の質問やニーズといったことに対してのサポート、フォローを行っている。

3. 方法 (教育方法において大切にしていること)

教育における理念を実現する方法として、アクティブラーニングを採用している。大教室の授業においては、授業の最後にリアクションペーパーの提出を学生に求めている。リアクションペーパーでは、授業に関する質問以外にも、心理学に関する質問や大学生活上での質問を受け付けている。学生とのリアクションペーパーを通じてのやり取りを行う事で、学生の心理学・臨床心理学への興味、関心を高め、また、授業中に疑問に思った事項に関して、丁寧な説明を行っている。

受講者数が限られている授業に関しては、カウンセリングの技法の修得に向けた、ディスカッション形式の授業を採用している。講義にてカウンセリング技法の説明を行った後、実際に学生同士でのカウンセリング技法の実習、および学生同士で練習したカウンセリング技法のフィードバックを行わせることによって、実際の技法の練習を行っている。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

学生の評価として、アクティブラーニングの採用により、単にカウンセリングの技法を学ぶだけでなく、実際に練習を行うことによって、医療現場における実習に応用でき、有効な講義であったとの評価を得ている。また、リアクションペーパーを通じて学生と質疑応答を行うことで、心理学に興味モデルようになったとの意見や、講義中に質問するのは難しいが、リアクションペーパーにて回答してもらったことによって理解が高まった、との評価コメントを得ている。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

現在の成績の状況は、S・Aを合わせて15%程度である。短期的な目標として、授業の理解度の向上を行い、S・Aの学生の割合を20%～25%を目標とする。その為の方法として、小テストの振り返りの時間を作るとともに、ビデオ教材の時間を10%を目標として増やし、講義に対しての興味・関心を更に深めていく。

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、
すぐに確認できるようにしておきます。)